

災害時施設 緊急情報 入力画面

メニュー

トップページ

災害時施設情報 入力

災害時施設情報 参照

掲示板

行政からの通知一覧

広域カバー体制表

災害対策 組織図

災害対策マニュアル

ユーザーマニュアル

当サイトについて

各項目を順次
選択・入力ください。

災害時施設情報 入力

災害時施設 緊急情報 入力（災害発生後48時間以内に入力をお願いします。）

地域	<input type="radio"/> 北海道 <input type="radio"/> 東北 <input checked="" type="radio"/> 北陸・甲信越 <input type="radio"/> 関東 <input type="radio"/> 東海 <input type="radio"/> 関西 <input type="radio"/> 中国 <input type="radio"/> 四国 <input type="radio"/> 九州
都道府県	石川県
施設名	医療法人社団浅川浅川総合病院 施設名を入力して検索
施設住所	〒920-0000 石川県金沢市小坂町中83番地
施設の 카테고리	<input checked="" type="radio"/> 被災地の施設 <input type="radio"/> 被災地外の施設

※情報が不確かな場合は入力しないでください。

分娩取扱い	<input checked="" type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 不可
帝王切開施行	<input checked="" type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 不可
外来診療	<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可
母体搬送	<input checked="" type="radio"/> 受入れ可 <input type="radio"/> 受入れ不可
新生児搬送	<input checked="" type="radio"/> 受入れ可 <input type="radio"/> 受入れ不可
施設の損壊	<input type="radio"/> 無し <input type="radio"/> 軽度 <input checked="" type="radio"/> 半壊 <input type="radio"/> 全壊

※ 被災地外の施設は、上記項目「施設の損壊」の入力は不要です。

連絡手段	<input checked="" type="checkbox"/> 固定電話 03-6418-3020
	<input type="checkbox"/> 携帯電話

施設の損壊：
被災地外施設は入力不要

連絡手段は、可能なら
複数手段、複数名ご入力
ください。

【入力例】入力済みの項目は赤字で表示されます。

災害時施設 詳細情報 入力画面

災害時施設 詳細情報 入力

■ 他病院からの婦人科患者受け入れ

婦人科良性腫瘍手術	<input type="radio"/> 受入れ可	<input type="radio"/> 受入れ不可
婦人科悪性腫瘍手術	<input type="radio"/> 受入れ可	<input type="radio"/> 受入れ不可

■ ライフライン（被災地外の施設は入力不要です）

水道	<input type="radio"/> ○	<input type="radio"/> ×
ガス	<input type="radio"/> ○	<input type="radio"/> ×
電気	<input type="radio"/> ○	<input type="radio"/> ×

ライフライン項目：
被災地外の施設は入力不要

■ ヘリポート

ヘリポート有無	<input type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無
ヘリポート活用可否	<input type="radio"/> 可	<input type="radio"/> 不可
ヘリポート代替地有無	<input type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無
ヘリポート代替地	<input type="text"/>	

備考欄：
被災地施設から特に伝えたいことがあればご記載ください

詳細欄備考	<input type="text"/>
-------	----------------------

搬送受入れ可能な施設の周産期情報 入力画面

母体搬送／新生児搬送 受入れ可能な施設は以下の情報入力をお願いします。

■ 搬送受入れ可能施設の周産期情報

どのような特徴の患者を受入れが可能か？
受入れ可能なベット数をご記載ください。

受入れ可能な 母体妊娠週数	<input type="text"/>
受入れ可能な 新生児の体重	<input type="text"/>
受入れ可能な 産科（ローリスク）ベッド数	<input type="text"/>
受入れ可能な 産科（ハイリスク）ベッド数	<input type="text"/>
受入れ可能な MFICU（ハイリスク）ベッド数	<input type="text"/>
受入れ可能な NICUベッド数	<input type="text"/>

MFICU以外の施設がご記載ください

災害時には、毎日必ず受入れ可能病床数の更新をよろしくお願いします。（更新日時が表示されます）

受入れに関する 備考欄 (受入れ母体、胎児詳細など 自由記載可)	<input type="text"/>	最終更新日時 (2016年 7月 22日 11時 0分)
-------------------------------------	----------------------	---------------------------------

受入れ可能な患者の特徴など
あればご自由にご記載ください。
(例：胎児心奇形受入れ可能etc)

最終更新日時が表示
されます。
災害時には情報の
アップデートは毎日
お願いします。

確認

クリア

詳細非表示

入力情報の参照・検索画面（マップから）

入力された情報は
マップ上に表示
されます

分娩可能な施設のみが
掲示されます

全施設が表示されます

マークをクリックすると
入力された各施設の
情報が表示されます

上の地図では総合周産期母子センター(青ピン)に該当する施設が表示されています。
各ピンをクリックすることで、表示施設のカテゴリーを切り替えが可能です。

大規模災害発生

被災地施設

被災地外施設

インターネット

利用不可

利用可能

日産婦HPの被災地外施設
入力指定地域を確認

入力指定地域

同じ地域の産婦
人科基幹施設に
電話連絡(FAX)

日産婦HPから
システムにアクセス

被災情報の
代行入力
を依頼

災害時施設
情報を入力

*システムの中で
「被災地の施設」
「被災地外の施設」を選択
して各項目を入力。

厚労科研(地域医療基盤開発推進研究事業)における 小児周産期領域の災害対策研究

- 「首都直下型地震・南海トラフ地震等の大規模災害時に医療チームが効果的、効率的に活動するための今後の災害医療体制のあり方に関する研究」(研究代表者 小井土雄一)分担研究課題「周産期・小児医療提供体制に関する研究」(研究分担者 海野信也)(平成28年度から3年間)
 - － 「小児周産期リエゾン研修のプログラム案及びテキスト内容の検討(研修班)」
 - － 「小児周産期患者の災害急性期の搬送体制の検討(搬送体制班)」
 - － 「災害時周産期情報システムの検討(情報システム班)」
 - － 「地域周産期BCP策定及び災害時母子支援チームのあり方に関する検討(周産期BCP・支援チーム班)」
- 厚労科研(地域医療基盤開発推進研究事業)「災害時小児・周産期医療体制の構築と認知向上についての研究」(研究代表者 海野信也)(平成29年度から3年間)
 - － 「災害時小児周産期リエゾン研修会の充実にに関する検討」
 - － 「小児・周産期医療災害時情報システム(EMIS-PPM)の構築と広域災害救急医療情報システム(EMIS)との連動に関する検討」
 - － 「大規模災害時に収集・共有されるべき小児医療関連情報に関する研究」
 - － 「小児周産期リエゾンの活動を支援する体制の整備に関する研究」

医政局地域医療計画課長通知「疾病・事業及び在宅医療に係る医療体制について」(平成29年3月31日付(平成29年7月31日一部改正))における災害医療体制と周産期医療体制

- 現状の災害医療体制では小児・周産期医療に関して準備不足である。
- 災害時小児周産期リエゾンの養成・配置
 - － 災害医療コーディネーターのサポートとして、小児・周産期医療に特化した調整役である「災害時小児周産期リエゾン」を養成する。
 - 厚生労働省は平成28年度より「災害時小児周産期リエゾン研修事業」を開始。
 - － 都道府県は災害対策本部等に「災害時小児周産期リエゾン」を配置する。
 - 災害時小児周産期リエゾンに認定された者は、各都道府県において平時からの訓練や災害時の活動を通じて、地域のネットワークを災害時に有効に活用する仕組みを構築する。
 - 訓練の実施にあたっては、周産期母子医療センターをはじめ、地域の一次医療施設を含めて地域全体で行う。
- 総合周産期母子医療センターの役割
 - － 総合周産期母子医療センターは、災害時を見据えて業務継続計画を策定すること。また、自都道府県のみならず近隣都道府県の被災時においても、災害時小児周産期リエゾン等を介して物資や人員の支援を積極的に担う。

平成29年7月29日

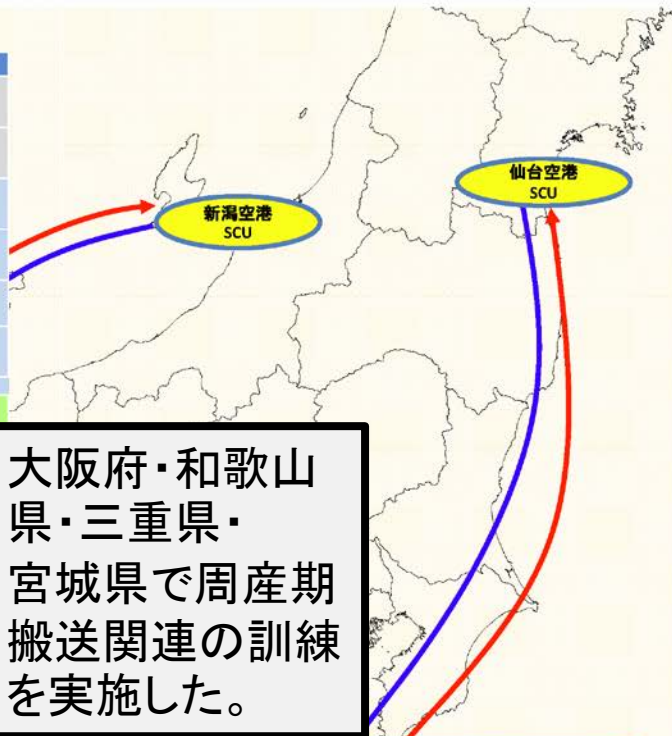
平成29年度内閣府大規模地震時医療活動訓練

平成29年度大規模地震時医療活動訓練（広域医療搬送計画）

別紙

機体運用案および訓練計画

目的	発SCU	着SCU	使用機体	備考
DMAT参集 (空路)	① 宮城県 仙台空港 ⇒ 和歌山県 南紀白浜空港 固定翼機 C-130H (空自)			
	② 新潟県 新潟空港 ⇒ 大阪府 兵庫県 大阪国際空港 固定翼機 C-130R (海自)			
広域医療搬送	③ 三重県 三重県広域防災拠点 (伊勢志摩拠点) ⇒ 滋賀県 滋賀県立大学 回転翼機 CH-47 (空自)			
	④ 和歌山県 南紀白浜空港 ⇒ 宮城県 仙台空港 固定翼機 C-130H (空自) ①の機体を使用			
	⑤ 大阪府 八尾SCU ⇒ 滋賀県 滋賀医科大学 回転翼機 EC225 (海保)			
	⑥ 大阪府 兵庫県 大阪国際空港 ⇒ 新潟県 新潟空港 固定翼機 C-130R (海自) ②の機体を使用			
政府艦船を用いた訓練	⑦ 和歌山県 和歌山下津港 (接岸・移動なし)	輸送艦	自衛隊陸	



凡例

- 患者搬送の流れ (Red arrow)
- DMATの流れ(参集) (Blue arrow)
- 域内拠点 (Purple circle)
- 域外拠点 (Yellow circle)

大阪府・和歌山県・三重県・宮城県で周産期搬送関連の訓練を実施した。

- 遠隔地に所在するDMATチームが空路により被災地内へ参集
 - 各府県が設置した被災地内SCUから重症患者を被災地外SCUへ航空搬送
- ※訓練で使用する航空機については、上表のとおり

政府艦船を用いた臨時SCU設置等訓練【和歌山下津港】

